

山行報告書

報告書作成

2010年3月2日

山名 [山域]	飯綱山(1917m)	目的と方法	山スキー
登山期間	2010年2月27～28日(土、日)	山行形態	日帰り2日間(道の駅1泊)
参加人数	7人		

行動記録

2/27(土) 雨のち曇り時々晴れ

岡崎市民病院(500) =0:10= 岡崎IC(510)=3:20=長野IC(830)=1:00=戸隠スキー場(神告げ温泉PK)(930,1000) -0:30-
スキー場山頂駅[瑠璃山](1030) -2:00- 飯綱山頂上(1230,1310) -2:20- 林道(1530) -1:00- 神告げ温泉PK着
(1630,1830) =2:00= 道の駅千曲川(2030)就寝(2200)

1/5(火) 雨時々雪のち晴れ

起床(6:00)、馬曲温泉(830,1200) =1:00= 信州中野IC(1300) =3:30= 岡崎IC(1630) =0:10= 岡崎市民病院(1640)

概念図



スキー場リフト券1人300円
300円X3本 900円

神告げ温泉
日帰り入浴大人600円

馬曲温泉
日帰り入浴大人500円

・長野ICから戸隠までコンビニは少ないのでIC入口の7イレブンの調達がオススメです。

日誌:

早朝、岡崎市民病院に集合し定刻どおり出発。雨の中、高速道路をひた走り前夜発のK夫妻と姨捨SAで合流。その後車2台で目的地の戸隠スキー場中社PK(神告げ温泉)に着く。スキー場は濃い霧で視界が悪く先の展望も期待できない中、午後から回復の見込みとの予報を信じ、準備も早々に飯綱山に向けて出発。スキー場リフト上部よりコース外に出て、地図とコンパスを合わせ、スタートするが視界が悪いきなりルートはずしてしまふ。地図を何度も確認し何とかもとのルートに戻るがかなりタイムロスをしてしまった。その後は順調に尾根をのぼり標高を上げ気がつけば濃霧から抜け青空が広がっていました。スタートから2時間ほどで山頂に無事着くことができ朝の心配がうそのような快晴で近くには戸隠連峰、高妻山、遠くには北アルプスを白馬から槍まではっきりと見ることができ感動。頂上では日差しも暖かくほぼ無風状態で休憩していてもまったく寒くない。(2月末でこの暖かさ異常では?) お昼休憩もそこそこにすばらしい景色と名残惜しくお別れし、気持ちを切り替え待ちにまった滑走タイム。上りと違い今度は今から下るルートがはっきり見える。これなら安心とスキーをさっさと装着、いざ出発! 前日、気温が高かったせいか山でも雨だったようで雪の状態は最悪、それでもちょうどよい斜度で気持ちよく滑る。途中、ルートを外れているのに気づくがなかなかもとのルートに戻れず、苦勞する。その間、樹林帯を下りるが木が密集していてとても連続して滑ることができず、ズリズリと慎重に下りながらもとのルートを探すが結局、林道まで出てしまった。かなり奥の林道へ出たらしく平坦な林道をひたすら歩き、何とか無事に駐車場まで戻ることができました。

この悔しさを翌日に晴らすべく次の目的地に向けて車を走らすがなんだか雲行きが怪しい、祈るような思いで近くの道の駅にてさっさと就寝。翌日起きたら見事に雨。(そんな～)

山スキーはあきらめ2日目は温泉ツアーとなりました。

感想:

霧で視界が悪く、目標物、尾根等の地形が目で確認できず現在地の重要性、コンパスでの方向確認の必要性を強く感じました。また視界がよくても地形等を確認しながら進まなければすぐにルートを外れてしまうことを経験し改めて読図の難しさを感じました。